

「琉球新報社提

～20161216

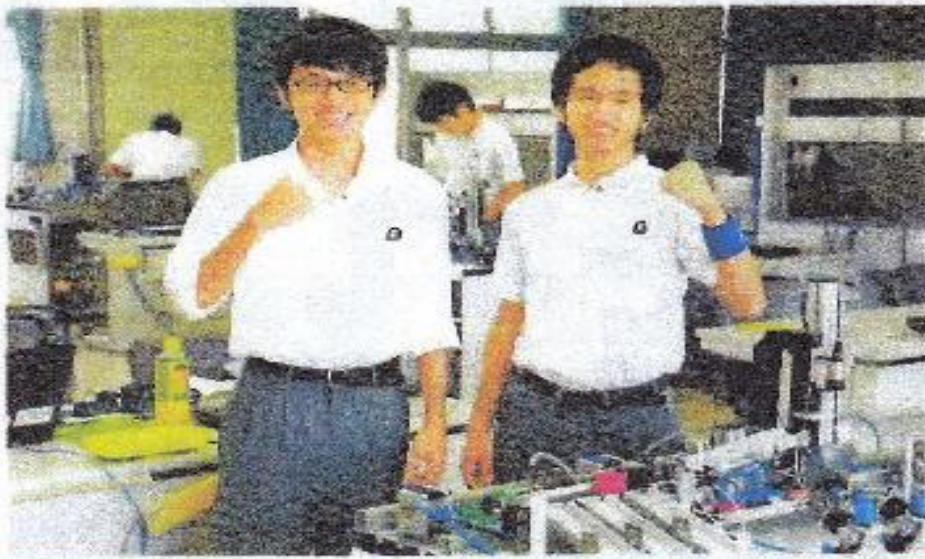
2016 (平成28) 年8月19日 (金)

沖工、技能五輪出場へ

宮城さん 高良さん メカトロ部門に県勢初

沖縄工業高校(小椋健夫校長)電気電子科3年の宮城利さん(18)と高良健太さん(17)が、10月21～24日

に山形県で開かれる「第54回技能五輪全国大会」の「メカトロニクス」部門に県代表として出場する。同



「機械工作部」の部室で技能五輪への意気込みを見せる宮城利さん(右)と高良健太さん(左) 11月16日、那覇市の沖縄工業高校

部門での県勢の出場は初めて。2人は「(出場する)プロの技術者にも負けないように頑張りたい」と意気込んでいる。

メカトロニクスとは、機械工学や電子工学などからなる技術分野。宮城さんは「機械の組み立てからコンピュータのプログラミングまで広い分野で工業の基礎が身に付く」と魅力を語る。

2人は8、9日に沖縄コンベンションセンターなどで開かれた「第11回若年者ものづくり競技大会」で、同部門の優勝に当たる金賞(厚生労働大臣賞)を受賞、技能五輪出場を決めた。

2人とも「子どもの頃から機械が好きだった」と言い、所属する機械工作部の

部室で放課後や休日など、ほぼ毎日練習に打ち込む。長時間機械やパソコンに向き合う練習も「一分一秒でも長く機械に触れていたいので、苦にはならない」(宮城さん)という。

メカトロニクスの競技課題は開始まで分からないため、2人は過去の競技課題を実践したり、自分たちで課題を設定したりして、あらゆる課題に対応できるように腕を磨いている。

技能五輪へ向けて、宮城さんは「細かいミスがものづくり大会では目立ったので、落ち着いて競技に取り組みたい」、高良さんは「将来にもつながるような良い経験をしていきたい」とそれぞれ抱負を語った。